

ワックンカルタで 鶴見を散歩

～これぞ鶴見、シンボルをめぐる～

●お散歩に出るときは、小さく折ってお持ちください。
折り方：すでに2つ折りにされているそれぞれの横幅を
半分に折ります。(①・②・③の順番で山折り)
4枚の総額折りになっているものを全部を、縦幅
の半分に折ります。(④裏面まで山折り)



発行：鶴見区役所 企画・編集「魅力づくりの会」



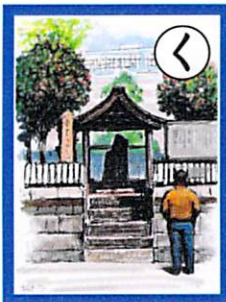
山門を
ぬければそこは
大本山總持寺

曹洞宗大本山總持寺は、石川県から明治44年(1911)に移転して、平成23年(2011)に百年を迎えました。仏殿や紫雲台、三松閣、百間廊下、香檜台、僧堂などは、国の登録文化財に登録された大正・昭和期の名建築です。千畳敷の広さを誇る法堂は本堂としては日本一の大きさとも言われています。墓地には浅野総一郎や石原裕次郎などの著名人も眠っています。



東洋一の
遊園地
花月園

大正3年(1914)に開かれた日本で最初の児童遊園地鶴見花月園は、東洋一と呼ばれた大遊園地でした。中でも大山すべりは子どもたちに大人気でした。日本で最初の国際児童絵画展も開催されました。「東の宝塚」とも呼ばれた少女歌劇では、「一寸法師や牛若丸」が登場するおとぎ歌劇も上演されました。ダンスホールには小説家の谷崎潤一郎も踊りに来ました。戦後は競輪場になりました。



黒川莊三
平和の願い
生麦事件碑

文久2年(1862)8月、薩摩藩の行列と馬に乗った4人のイギリス人が遭遇し、言葉も通じず、互いの文化を知らないことから不幸な殺傷事件が発生しました。犠牲になったリチャードソンの死をいたみ、万国の平和を願い、明治16年(1883)に鶴見村戸長黒川莊三が旧蹟碑を建てました。生麦の人たちが守り続け、横浜市地域史跡に登録されました。

◎谷折り



子育て観音
東福寺

寛治元年(1087)京都醍醐寺の勝覚僧正の開創と伝える東福寺の如意輪観音は、堀川天皇の皇子誕生祈願を成就させて以来、子育て観音として信仰を集めるようになりました。江戸時代には多くの参詣客でにぎわい、街道名物にもなった子育て饅頭は飛ぶように売られました。芭蕉句碑「観音の薺みなりつはなの雲」が東福寺が桜の名所であったことを伝えています。



にぎやかに
昔も今も
蛇も蚊も祭り

毎年6月第1日曜日、「蛇も蚊も出たけ、日和の雨け」と勇ましく掛け声をかけながら、茅で作った大きな蛇を担いで家々を回る「蛇も蚊もまつり」は、江戸時代から続く生麦の伝統行事です。本宮の道念稲荷社と原の神明社の境内でそれぞれ20mもある蛇を作り、疫病退散、雨乞いを祈って、大人も子どもも一緒に担ぎます。

◎山折り



風はごぶ
チョコとビールの
香りして

森永製菓の鶴見工場で作られるチョコレートやビスケットは、大正時代から全国へ送り出されてきました。甘い香りのする工場見学は、小学生などに人気です。日本最初に横浜山手に誕生したキリンビールは、関東大震災後に生麦に移ってきました。ビールの製造過程をたどる工場見学や緑豊かな庭が人気のスポットになっています。

◎山折り



発行：平成27年8月
横浜市鶴見区役所地域振興課 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1
電話：045-510-1687～1689 FAX：045-510-1892
Eメール tr-chishin@city.yokohama.jp
ウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/kanko/midokoro/sansaku.html>